



そでがうら

WEBSITE URL

http://www.city.sodegaura.chiba.jp/

議会だより

平成23年 第147号

8/1

発行/袖ヶ浦市議会 編集/議会広報特別委員会 〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場1-1 ☎0438 (62) 2111 (代)



お水あそび たのしいな!

笑顔いっぱい 夢いっぱいの
中川幼稚園



平成23年 第4回(9月招集) 定例会会期(案)

【会期】平成23年9月1日(木)から9月22日(木)までの22日間

日	曜日	区分	傍聴
9/ 1	木	本会議	○
2	金	休会 (議案調査のため)	
3	土	休日	
4	日	休日	
5	月	休会 (議案調査のため)	
6	火	本会議 (一般質問)	○
7	水	本会議 (一般質問)	○
8	木	本会議 (一般質問)	○
9	金	本会議 (一般質問予備日)	○
10	土	休日	
11	日	休日	
12	月	総務企画常任委員会	○
13	火	文教福祉常任委員会	○
14	水	建設経済常任委員会	○
15	木	決算審査特別委員会	○
16	金	決算審査特別委員会	○
17	土	休日	
18	日	休日	
19	月	休日	
20	火	決算審査特別委員会 (予備日)	○
21	水	休会 (総合調整のため)	
22	木	本会議	○

*一般質問通告一覧表は8月30日頃、ホームページに掲載する予定です。
*各種会議の詳細については、市役所 議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会

6月8日~6月28日
(会期21日間)

初日に市長から条例の制定など議案3件、報告6件が提出され、提案理由の説明がありました。また、陳情4件について委員会付託を行いました。

14日には、議案1件の委員会付託を行い、その後市長から追加議案1件が提出されました。

また、14日、16日、17日は、17人が市政について一般質問を行いました。

22日、23日、24日は、各常任委員会が開催され、付託された議案1件及び陳情4件の審査並びに所管事務調査を行いました。

最終日の28日、付託された議案等について各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、議案1件については原案のとおり可決、陳情については3件が採択、1件は不採択とされました。また、議案3件については、原案のとおり可決、承認されました。その後、議員発議の意見書の提出が4件あり、原案のとおり可決されました。

(議決結果は6ページに掲載してあります。)

永年在職議員表彰

永年にわたり、議員として市政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により、全国市議会議長会から次の議員が表彰されました。
6月17日本会議場において、表彰状の伝達が行われました。

10年以上表彰

福原 孝彦 遠山 修 小野 光正

常任委員会・特別委員会

各委員会では、付託案件・陳情の審査や所管事務調査が行われました。

総務企画常任委員会

6月22日開催

- 【所管事務調査】 ●袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業区域内の固定資産税及び都市計画税の見直しについて
●東日本大震災における市の対応について
●袖ヶ浦市の非常時備蓄状況について

総務企画常任委員

- 委員長 田邊恒生
副委員長 片倉憲太郎
委員 前田美智江／茂木芳和／榎本雅司／阿津文男
篠崎典之／石井俊夫

文教福祉常任委員会

6月23日開催 付託案件

【議案】

- ▶議案第1号 袖ヶ浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・採択の結果 原案可決（賛成多数）
・主な質疑 ①課税限度額が引き上げられることにより対象となる世帯数及び税の増収額
②課税限度額が設けられている理由及び過去の改正の推移
③課税限度額の対象となる世帯の所得金額及び滞納の状況
④課税限度額の上昇と収納率への影響
⑤課税限度額を引き上げる理由
⑥国民健康保険特別会計の財政調整基金の状況

【陳情】

- ▶陳情第19号 大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情書
- ・採択の結果 不採択（賛成少数）
・主な質疑 ①ILO看護職員条約の具体的な内容
②看護師の離職の状況
③労働時間を週32時間、勤務間隔を12時間以上とした根拠

- ④陳情事項を実現するために必要な看護師の体制
⑤夜勤の2交替制と3交替制の実態と望ましい形態
⑥医療現場の実態
⑦看護職員等の増員と患者負担の増加の関連

- ▶陳情第20号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
- ・採決の結果 採択（全員賛成）
- ▶陳情第21号 「国における平成24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書
- ・採決の結果 採択（全員賛成）
・主な質疑 ①教育に関する震災支援策の具体的内容
②就学援助の現状
③昨年同様の陳情が採択されたことによる成果
④教員が置かれている現状

文教福祉常任委員

- 委員長 神崎 寛
副委員長 佐藤麗子
委員 佐久間清／励波久子／小野光正／岡田 實
渡辺 盛

建設経済常任委員会

6月24日開催 付託案件

【陳情】

- ▶陳情第22号 地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情書
- ・採択の結果 採択（全員賛成）
・主な質疑 ①袖ヶ浦市内における多重債務や詐欺商法等の実態
②国の地方消費者行政に対する具体的な動き
③貸金業法の改正に対する考え方
④千葉県多重債務対策会議の取り組みの内容
⑤専門職任用制度の内容及び消費生活相談員の報酬
⑥現状の消費生活相談制度に対する苦情や問題点

- ⑦市が実施している消費生活相談の相談内容
⑧消費生活に関する養成講座の内容
⑨消費者の被害を予防するための取り組み
⑩消費生活相談員の採用基準及び研修内容

【所管事務調査】 ●袖ヶ浦市代宿土地区画整理組合の状況について

建設経済常任委員

- 委員長 立原 勇
副委員長 篠崎龍夫
委員 長谷川重義／吉岡淳一／塚本幸子／福原孝彦
遠山 修／露崎信夫

(仮称)そでがうらメモリアルパーク検討特別委員会

5月25日開催

【議件】 (1)火葬場建設の市のめざすべき方向性について

【所管事務調査】 ●安房郡市広域市町村圏事務組合の現在建設中の新火葬場視察

(仮称)そでがうらメモリアルパーク検討特別委員

- 委員長 榎本雅司
副委員長 阿津文男
委員 長谷川重義／篠崎龍夫／茂木芳和／片倉憲太郎
神崎 寛／吉岡淳一／塚本幸子／福原孝彦
篠崎典之／岡田 實

市政を大きく

一般質問

平成23年 第3回(6月招集) 袖ヶ浦市議会定例会 一般質問日程

質問順	議員名	質問日
1	塚本幸子	6月14日
2	前田美智江	6月14日
3	篠崎典之	6月14日
4	篠崎龍夫	6月14日
5	吉岡淳一	6月14日
6	榎本雅司	6月16日
7	田邊恒生	6月16日
8	長谷川重義	6月16日
9	神崎寛	6月16日
10	福原孝彦	6月16日
11	片倉憲太郎	6月16日
12	励波久子	6月17日
13	佐久間清	6月17日
14	立原勇	6月17日
15	佐藤麗子	6月17日
16	石井俊夫	6月17日
17	岡田實	6月17日

塚本幸子議員

定期的な放射線量の測定を

Q 日常生活をする場での値はどうなのかが一番心配である。放射線量測定器を購入して、定期的に測定、公表していかないか。

A 今後も継続的に測定し、公表していきま

Q プール水の安全確保はどのようにしているのか。

A プール水検査の結果は不検出でしたが、今後も検査を実施し、安



篠崎典之議員

大震災を踏まえた防災計画は

Q 東日本大震災を踏まえ、防災計画をどう見直すのか。

A 危機管理検討委員会

Q 海側開発の見通しは

A 地震防災マップの見直しと併せ、地質や地形などを調査して作成

吉岡淳一議員

防災対策について

Q 海側土地地区画整理地内の液化化対策は。

A 地質調査、また県の

Q 市道代宿神納線に面した病院、市道をまたいで新館と旧館を空中廊下で繋いでいる。事故の危険はないか。

A 建築基準法上、耐震基準を満たしている

前田美智江議員

災害に強いまちづくりを

Q 大震災等にも有効な、防火水槽設置状況と火災に対応できる消防体制を伺う。

A 市街地を中心に76基が耐震性貯水槽であり、今後も計画的に設置

Q 学校施設の耐震化だけでなく、避難所としての防災機能を備えた施設として再整備しないか伺う。

A オストメイトの方々の使用している補装具を避難所に保管できないか。また、オストメイト対応ポータブルトイレの備蓄もできないか伺う。

篠崎龍夫議員

夏の電力不足対応について

Q 東京電力管内では、夏に向けて恐ろしい突発停電や計画停電が懸念される。市としてどう対処するのか。

A 他所でやっている例もあるので、検討いたします。その際、市内の有識者の協力も得たいと考えています。

Q 市庁舎などの関連施設は、空調温度28度設定やエレベーターを1基停止するなどの節電対策に努めます。

Q 一般市民に対しては、広報紙や東京電力によるチラシの配布により周知していきます。



市の活性化について

Q 木更津・金田地区では、アウトレットの誘致の後で、平成26年

A ホテルの誘致については、海側開発の商業誘致の中で検討いたします。

Q 土地の液化化は、過去の実績やボーリング調査から、また、津波は4mの防潮堤があり、問題がないと考えています。

選挙制度について

Q 若い世代の投票率を上げるために、投票権者年齢を18歳以上に引き上げる特区申請の考えはないか。

A 若い人の考え方を市政に取り入れていく必要があるという考えは

Q 自由貿易の枠組みを決める協議に参加することは必要ですが、本

A 自由貿易の枠組みを決める協議に参加することは必要ですが、本

榎本雅司議員

安心・安全な街づくり (災害に備えた施設整備) について

Q 災害時の拠点施設となる市有建築物の耐震化の進捗状況と今後の予定は。

A 平成22年までの市施設の耐震化率は72%であり、そのうち、防災上重要な建築物については、耐震化率74%を確保しています。今後も耐震改修計画に基づき、特に小中学校の屋内運動場を重点的に耐震化を進めていきます。

Q 災害対策本部が設置される本庁舎の耐震性能と今後の(改修・建て替え)予定は。

A 万一の災害に備え、毎月1回、データを磁気媒体にバックアップ

Q 市が保有しているデータのバックアップ体制と今後の取り組みは。

A 1日あたりの利用者数は3.6人、収支率は31%です。今後は、地域のニーズを把握し、地域と連携・協働した公共交通の実現を目指します。

Q 現在の利用状況と今後の課題についてどう取り組むのか。

A 現在の利用状況と今後の課題については、

Q デマンド型乗合タクシーについて

A 現在の利用状況と今後の課題については、



田邊恒生議員

東日本大震災の教訓を活かした防災対策への取り組みについて

Q 地域防災計画の検証・見直しを行わないか。

A 現計画では関東地震、直下型地震の2つを想定し、最大震度6強で、建物の163%が大破すると予測しています。今回の地震規模は想定を大幅に超えていることから、国県の見直し計画との整合を図り行う予定です。

Q 市独自に放射能が測定できる体制を作らないか。

A 機器を購入し、職員による測定体制を整えます。

Q 自主防災組織の充実を図らないか。

A 実践的な宿泊訓練などを考えていきます。

Q 市民向けアクションマニュアルを作成しないか。

A より安全に行動できるように行動モデルの策定に向け調査検討します。

Q 地域のきずな強化策として自治会の加入率向上を図らないか。

A 自治会加入率は64%と年々減少傾向にあります。チラシ等を作成

Q 新地方公会計制度による行政経営計画の取り組みについて

A 資産の時価評価は、土地は売却資産についてのみ固定資産評価額による時価評価を行いました。

Q 経営改革への活用

A 初年度であり作成・公表を第一目標としてきたことから、経営改革への活用までは行っていません。

長谷川重義議員

安心・安全な市民生活への取り組みについて

Q 千葉県消防救急無線の共同指令センター参加の意義を伺う。

A 大規模災害時の迅速な応援出動や指令業務の高度化・救命率向上が図れます。

Q 共同指令センター参加は人員削減につながるか伺う。

A 現指令室で引き続き行う業務や指揮隊の

Q 要員確保の必要から、人員削減につながりにくいと考えています。

Q 個人を大切に教育への取り組みについて

A 新入児童が集団生活に適應できず授業が成立しない、小1プロブレムへの対応を伺う。

Q 授業の工夫や1学年配置するなど、きめ細かな対応をしています。

Q 普通学級に在籍する発達障害児への支援策を伺う。

A 保育所・幼稚園での研修や巡回指導員を

Q 特別支援教育の体制をより進めるため、更なる増員に取組まないか伺う。

A 教員の研修を深め、特別支援教員の活用方法等も考えながら検討します。

Q 市内の造成宅地には盛土部分もあり、大規模な盛土には耐震調査も必要である。がけ地や急傾斜地の危険地区の状況及び未整備のうち合意が得られない理由について

A 地域防災計画のうち7地区が未整備であり、合意が得られない地区が二地区(蔵波・岩井)があります。土地制限等がかかり地権者の合意が得られていません。

Q 橋梁の耐震整備を進めるべきではないか

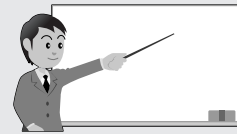
A 市道橋梁の耐震対策は進んでいない。橋梁の耐震対応の状況について

Q 一・二級市道にかかっている橋梁を重視し、対応することが必要であると考えています。今後は、特定財源の確保を図りながら優先順位を決め、整備計画を立て対応します。

Q 災害に強い幹線道路の整備が必要ではないか

A ゼロメートル地帯もあり、東日本大震災規模の地震が発生した場合、救急病院に通じる幹線道路は、災害に強い道路整備が必要である。救急車が病院に向かう幹線道路の地震、津波対策について

Q 救急車両の通行は幹線道路が整備され災害に強い状況となっておりますが、市道では、川原井林線、三箇横田線の整備を進めています。



福原孝彦議員

防災計画の見直し、総点検が必要ではないか

Q 市内の造成宅地には盛土部分もあり、大規模な盛土には耐震調査も必要である。がけ地や急傾斜地の危険地区の状況及び未整備のうち合意が得られない理由について

A 地域防災計画のうち7地区が未整備であり、合意が得られない地区が二地区(蔵波・岩井)があります。土地制限等がかかり地権者の合意が得られていません。

Q 橋梁の耐震整備を進めるべきではないか

A 市道橋梁の耐震対策は進んでいない。橋梁の耐震対応の状況について

Q 一・二級市道にかかっている橋梁を重視し、対応することが必要であると考えています。今後は、特定財源の確保を図りながら優先順位を決め、整備計画を立て対応します。

Q 災害に強い幹線道路の整備が必要ではないか

A ゼロメートル地帯もあり、東日本大震災規模の地震が発生した場合、救急病院に通じる幹線道路は、災害に強い道路整備が必要である。救急車が病院に向かう幹線道路の地震、津波対策について

Q 救急車両の通行は幹線道路が整備され災害に強い状況となっておりますが、市道では、川原井林線、三箇横田線の整備を進めています。

神崎寛議員

今夏の節電対策について

Q 庁舎内の照明器具をLED照明器具に替えてモデル的な取り組みをしないか伺う。

A 費用対効果を検証し、部分的な設置も可能かどうか検討していきます。

Q LED防犯灯は安価な器具もあるので新規設置の場合は導入をしないか伺う。

A 新規に設置する場合は、LED防犯灯が安価に設置できる業者が一社あることがわかりましたので、導入すべく検討します。

Q 米粉の普及について

A 調理講習会や各種イベントでの試食販売、市内外の学校給食へ米粉パンの納入を行っています。積極的に米粉の普及と販路の拡大に努めます。

Q 電子黒板について

A 電子黒板の小中学校での活用状況について伺う。

A 英語活動、国語科での作文の構成、社会科の地図指導、算数・数学科の図形、理科での実験観察のまとめやプレゼンテーションなどで活用を試みています。

Q 社会的弱者に対する救援策について

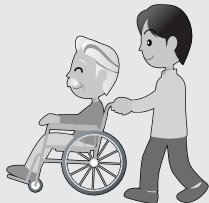
A 今度の東日本大震災規模の災害が再び関東全域に発生した場合、社会的弱者と言われる障害者、高齢者、乳幼児の安全対策やマニュアルがどこまで整備され、実践的に問題ないか。

Q 障害のある方について

A 障害のある方に対する程度や特性、居住の状況等を勘案した日常的な介護支援や自立訓練等のためのサービスは用意されています。

Q 複数の障害児に対応する指導員の確保を本市独自で整備しないか。

A より安全な環境を整備できるよう調査研究していきます。



片倉憲太郎議員

社会的弱者に対する救援策について

Q 今度の東日本大震災規模の災害が再び関東全域に発生した場合、社会的弱者と言われる障害者、高齢者、乳幼児の安全対策やマニュアルがどこまで整備され、実践的に問題ないか。

Q 障害のある方について

A 障害のある方に対する程度や特性、居住の状況等を勘案した日常的な介護支援や自立訓練等のためのサービスは用意されています。

Q 複数の障害児に対応する指導員の確保を本市独自で整備しないか。

A より安全な環境を整備できるよう調査研究していきます。

励波久子議員

原発事故に関する市の対応について

Q 原発事故に関する市の対応について、市長の考えは。
A 私ごときの私見は持ちませんが、国や国民全体の中で議論を進めていくことで終着するのではと考えています。

Q 停電しなければ必要のない発電機購入は酪農家にとって大きな出費となる。市として発電機への補助をしないか。
A 酪農家から要望等があれば検討したいと思います。

Q 原発は本質的に未完成な技術であり、危険。原発からの速やかな撤退が必要だと考えるが、

し、公費負担のあり方については、慎重に検討するように国へ強く要望しています。

中学校教科書採択について

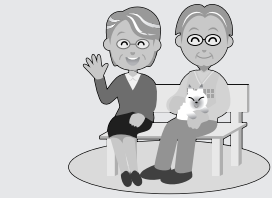
Q 4年前の採択では侵略美化の歴史教科書を採用する市があり問題となった。教科書展示会場は君津地区に一カ所しかなく、教員や保護者が手にし議論できるような市内にも設置しないか。
A 会場が十分か不十分か4市の協議会で話題にしたいと思っています。



佐久間清議員

高齢者福祉について

Q 「認知症地域支援体制構築モデル事業」終了後の支援体制について伺う。
A 平成22年度でモデル事業は終了しましたが、引き続き認知症高齢者見守り事業としてそれぞれの事業を実施していきます。



Q シニアクラブ会員の増員に向けた取り組みについて伺う。
A 高齢者が積極的に地域にかかわり、多世代との交流をすることにより生きがいづくりや社会参加の促進、地域の担い手としての意識を高めることにより、加入の促進が期待できると考えています。今後も実現に向けて関係機関や関係者と協議を進めていきます。

行政経営計画(第5次行政改革大綱)の取り組みについて

Q ワンストップサービスの実現に向けての取り組みについて伺う。
A 行政窓口サービスを1カ所で済ますことは、来庁する市民の窓口の渡り歩きや行きたい窓口の不案内などを解消するため効果的な方策であると認識しています。今後庁内にワーキンググループを設け、諸課題について検証するとともに先進地を視察し、実現に向けた方策を検討していきます。

Q 津波被害が懸念される海浜公園に防災行政無線は設置されているのか。
A 現在設置されているので、設置に向け県と調整を図り検討していきます。

立原勇議員

地域防災計画の現状と今後の対応について

Q 地区別の一時避難場所を明確にし、標識等を設置して市民に周知しないか伺う。
A 一時避難場所の指定は自治会等が決められているが、十分に周知されていない面があるため、全市民が安全に避難できる方法を検討します。

Q 津波対策の現状と今後の対応について伺う。
A 津波は2 m規模と想定しているが、4 m程度の防潮堤が整備されているため、津波による浸水被害は想定していません。今回の大震災の津



履歴を周知し、大地震の対応について啓発していきます。児童生徒には、学校での避難訓練時に関東大震災や阪神淡路大震災の被害状況を話題として取り上げます。

危機管理体制の充実強化策について

Q 市長を直接補佐する危機管理専任職を新設し、関係部門を迅速円滑に指揮監督できる体制を検討しないか伺う。
A 庁内に危機管理検討委員会を設置し、管理体制を含めた防災計画の見直しをしている最中です。専任職の設置が望ましいことになれば考えます。

佐藤麗子議員

大震災を教訓とした新たな防災対策について

Q 防災行政無線による伝達が可能ない地域に対し、防災ラジオを導入しないか。
A 他と合わせ情報伝達の一つとして考えていきます。

Q 津波被害が懸念される海浜公園に防災行政無線は設置されているのか。
A 現在設置されているので、設置に向け県と調整を図り検討していきます。

Q 学校の身は自分で守ることが重要なのに、先進事例を参考に検討していきませんか。
A 昭和小4.5 m、奈良輪小2.7 m、今井幼稚園3.2 m、長浦中8.3 m、10.7 m等です。

Q 小さな子どもが遊ぶ砂場の放射線量の検査も重要と考えるが、測定間隔や場所の検討はいつまでに行うのか。
A 議員のご指摘も踏まえ、6月中に検討していきます。

Q 保護者の安心のためにも各地区単位で測定器を購入し、市民に貸し出さないか。
A そうしたことも今後必要になるかと思えますので検討していきます。

Q 牛乳は前処理しない生乳の状態、ハウレン草は根を落とし洗浄した状態、キャベツは表皮を数枚はがし水で洗浄した、食べる直前の状態で測定しています。今後はご指摘の状況についても公表していきます。

石井俊夫議員

出口市政の四年間

Q 実質単年度収支の赤字で財調(貯金)の取り崩しと、臨財債(借金)で約37億円。経常収支を圧縮すると訴えたが、比率で85%となり黄信号。財政健全化を主張したが、逆に悪化している。対策はしてきたのか。
A 枠配分による経常経費の削減等、歳入では、企業振興条例や袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業の促進などです。

Q 住宅の問題、議会との話し合いを含め、市民との対話が不足していたのでは。
A 3月19日、福島県から避難したい依頼があったが、受入れ態勢の不備のために期待に応えられず、迅速性に欠けていたのでは。

Q 職員指導不足と最悪責任者として自ら甘い体質が散見された。特に栄養士の件では、パワハラで弁護士と数回相談しているのに、いまだに認めないが。
A 議会の場で、言うことと行わないことがあります。執行者は私ですが、指導監督の責任は教育委員会です。

Q 3連休の間、会議も開かず、東京電力関係者を受け入れるべく個人的な行動は危機管理の欠如では。
A 努力はしましたが、個人的な部分もありました。



岡田實議員

平川地域の環境整備について

Q 県道鴨川線の整備状況は。
A 松川付近の道路改良工事と詳細設計を実施します。今後も早期完成に向けて県に働きかけしていきます。

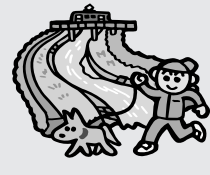
Q 県道横田停車場上泉線の野里通学路整備状況は。
A 並行する山際の農道整備案と県道への歩道併設案に検討を加え、

Q 県と調整しながら早期実現に努めます。
A 二級河川松川の改修状況について伺う。
A 一部用地買収が難航し、事業が停滞しているため、今後とも県に強く要望します。

Q 県道南総昭和線花川橋交差点・ドイツ村入り口間の歩道整備について。
A 地元区にも協力をいいただき、本年度も県に要望します。

Q 「南袖への火葬場建設断念」の考えに変わりはないのか。
A 再度後戻りするようありません。方向性として市独自で建設することを基本としながら、多角的に検討を進めたいと考えています。

Q 根形・平岡・中富の駐在所を統合して、5・6人体制の幹部交番をゆりの里付近に設けたらどうか。
A 駐在所の地元密着な活動を考慮するとともに、地域の皆さんや警察署の意見を聞きながら前向きに調査研究していきます。



6月定例会議案等議決結果一覧

議案番号	件名等	議決結果
議案第1号	袖ヶ浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (主な内容) 地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、国民健康保険税の基礎課税額等の課税限度額の変更を行うため、条例の一部を改正するものです。	原案可決 (賛成多数) 原案に反対した議員 勗波 久子 篠崎 典之
議案第2号	契約の締結について(根形中学校管理教室棟改築工事(建築工事)) (主な内容) 根形中学校管理教室棟改築工事(建築工事)の請負について、議会の議決を求めるものです。	原案可決 (全員賛成)
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(袖ヶ浦市税条例の一部を改正する条例の制定について) (主な内容) 平成23年4月27日付けで地方税法の一部が改正されたことに伴い、袖ヶ浦市税条例の一部を改正したものです。	原案承認 (全員賛成)
議案第4号	契約の締結について(平岡地区污水处理施設水処理設備工事) (主な内容) 平岡地区污水处理施設水処理設備工事の請負について、議会の議決を求めるものです。	原案可決 (全員賛成)
報告第1号	市が出資又は債務を負担している法人の経営状況について (主な内容) 市が出資又は債務を負担している袖ヶ浦市土地開発公社の経営状況について報告するものです。	—
報告第2号	平成22年度袖ヶ浦市一般会計予算の繰越費繰越計算書について (主な内容) 平成22年度袖ヶ浦市一般会計予算において設定した繰越費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第3号	平成22年度袖ヶ浦市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書について (主な内容) 平成22年度袖ヶ浦市一般会計予算において設定した繰越明許費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第4号	平成22年度袖ヶ浦市農業集落排水事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書について (主な内容) 平成22年度袖ヶ浦市農業集落排水事業特別会計予算において設定した繰越明許費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第5号	専決処分の報告について (主な内容) 水道料金債権(遅延損害金を含む。)の放棄について専決処分したので報告するものです。	—
報告第6号	専決処分の報告について (主な内容) 車両物損事故に係る和解及び損害賠償額の決定について、専決したので報告するものです。	—
陳情第19号	大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情書 (主な内容) 看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るため、看護師などの夜勤交替制労働者の労働時間を改善することなど3項目について、国に対し意見書の提出を求めるものです。	不採択 (賛成少数) 原案に賛成した議員 篠崎 龍夫 勗波 久子 吉岡 淳一 塚本 幸子 篠崎 典之

議案番号	件名等	議決結果
陳情第20号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書 (主な内容) 21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう、国に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
陳情第21号	「国における平成24(2012)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書 (主な内容) 子どもたちの健全育成をめざし、豊かな教育を実現させるため、教育に関する震災支援策を十分にはかることなど6項目について、国に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
陳情第22号	地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情書 (主な内容) 消費者の安心な生活を確保するため、地方消費者行政充実のための継続的かつ実効的な財政支援を行うことなど3項目について、国に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
発議案第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について (主な内容) 陳情第20号の願意に沿い、意見書を国に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)
発議案第2号	国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書について (主な内容) 陳情第21号の願意に沿い、意見書を国に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)
発議案第3号	地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書について (主な内容) 陳情第22号の願意に沿い、意見書を国に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)
発議案第4号	東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線量及び放射性物質の基準値等を早期に設けることを求める意見書について (主な内容) 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射線量及び放射性物質の基準値等を早期に設けることに関して、人体に影響を及ぼす全ての放射性物質分布の本格的調査と公表など5項目について、国に意見書を提出するものです。	原案可決 (全員賛成)



今年もきれいに咲きました！
袖ヶ浦公園近くにある約2ヘクタールの畑一面にひまわりの花が咲きました。
見学は無料です。 栽培者 中山長衛さん

編集後記

3・11は、日本人にとって忘れ得ぬ日になりました。我々の経験をはるかに超える地震と津波が東日本を襲いました。

震災でお亡くなりになった方々には、ご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

自然に対する人間の無力さ、無防備さを痛切に感じました。

ことに外国の原発の大きな事故を2度経験していながら、ないがしろにしてきたことへの罪は小さくないのではないのでしょうか。

こんなに素晴らしい地球を破壊してきたのは紛れもなく人間であり、地球の一員として自然に対してもっと謙虚にふるまう必要があるのではないか。

6月議会では、17人が一般質問を行い、15人が、何らかの形で震災に関連した質問を行いました。

これをきっかけに、袖ヶ浦市も環境に優しい、再生可能な循環型社会への真剣な取り組みを行い、未来に向けて大きな夢を育くんでいこうではありませんか。